

県ソフトウェア協会平成8年度総会開催

記念講演 日本銀行大分支店長 米田 実氏

県ソフトウェア協会平成8年度総会が、4月24日午後3時から、大分市内ソフトパークの大分第2ソフィアプラザビル2階で開催された。司会は後藤事務局長。

御手洗会長が体調が優れず出席できなかつたため、田中莞爾副会長が代わって挨拶し、「7年度は新しい委員会組織のもとで、従来の事業に加え大分県との意見交換会、若人対象のボウリング大会、技術研修会等を初めて行った。今後もこれらの諸事業を継続的に実施していくと共に、業界の変化に対応した活動に取り組んでいきたい」と述べた。

また、来賓挨拶は板井政巳大分県商工労働観光部長から祝辞をうけた。板井部長は急拠ご出張となったため、同部阿部政憲参事が代読された。

議事に入り、平成7年度の活動実績報告、収支決算承認に続いて、平成8年度の協会活動方針、各委員会の事業計画、収支予算などを議決した。

今総会では、当協会の事業拡充と中央情報の収集を図るために、業界全国組織である社団法人情報サービス産業協会（JISA）に入会することを決めた。

引き続き、米田実日本銀行大分支店長の「最近の金融経済情勢」と題した記念講演があり、グラフを駆使した明快で解りやすい話に参加者一同熱心に聴き入った。

その後、恒例の懇親パーティがあり、秋月睦男顧問による乾杯に始まり、新しく入会された4社の会員の自己紹介がおこなわれ、約1時間穏やかに歓談して藤田勝久理事の万歳三唱で閉会した。

(総務委員会)



来賓挨拶 阿部大分県参事 乾杯 秋月顧問(県工団連会長)



万歳三唱 勝田理事

新入会員紹介

当協会は会員拡大に努めてきましたが、今回次の4社にご入会いただきました。どうぞよろしくお願いたします。

●大分ニューメディアサービス(株)

専務取締役 永松 秀敏
ビデオテックス事業ほか。特に日用品購入システム(トキハイナダストリーと提携)で日本一の表彰を受けた。
従業員 6名。
所在地 大分市東春日町17-19
TEL(0975)37-1855
FAX(0975)32-0371
所属 企画委員会



●(株)長嶋不動産鑑定事務所

代表取締役 長嶋 敏行
不動産鑑定、固定資産税システム評価、公共事業の補償コンサルタント(建物等の積算)
従業員 35名(グループ)
所在地 大分市城崎町2-4-7
TEL(0975)36-0881
FAX(0975)35-2103
所属 技術委員会



●(株)地域科学研究所

代表取締役 木下 光一
自治体向け固定資産税情報管理システム、インターネットWWWサーバー開設・運用、イントラネットサーバー、LAN構築・運用。
従業員 13名。
所在地 大分市中春日町12-30
技術会館
TEL(0975)36-0076
FAX(0975)38-7960
所属 イベント委員会



●(株)仲谷電子製作所

代表取締役 仲谷 善文
集積回路(IC)の組立、検査、品質管理。電子制御機器の設計、製作。
従業員 355名
所在地 臼杵市野田持田30-2
TEL(0972)63-1390
FAX(0972)63-6120
所属 技術委員会



平成8年度収支予算科目 (単位 千円)

科 目	平成8年度 予 算 額	平成7年度 予 算 額	増 減
収入			
会費等収入	2,450	2,330	120
事業収入	1,900	1,848	52
雑収入	20	29	△9
前年度繰越金	1,241	1,162	79
合 計	5,611	5,369	242
支出			
管理費	385	262	123
事業費	4,050	3,739	311
予備費	490	127	363
合 計	4,925	4,128	797
翌年度へ繰越 (内積立)	686 (600)	1,241 (600)	△555 (0)

大分県ソフトウェア協会活動方針

1. 協会活動を通じて地域および関係機関との交流を深め、情報化社会への貢献をめざす
2. 委員会体制の充実をはかるとともに、魅力ある事業を推進する

総務委員会

- 委員長** 杉原秀次(㈱インテック 大分センター所長)
副委員長 竹光大造(㈱富士通大分 ソフトウェアラボラトリ課長)
外委員 3名 (担当 後藤理事)

- I. 事業方針
協会の事業力強化と活性化を目的に会員拡大を推進し、会員会社社員の福利厚生等を意識した事業活動を行う。
- II. 事業計画
 1. 次の協会定例行事を企画・開催
4月 通常総会・講演会
9月 ボウリング大会
1月 新年会・講演会
 2. 会員拡大運動を引き続き実施
(1)各委員会の協力を得て次の要領で実施する。
(2)会員勧誘時のツールとして、協会紹介のPRパンフレット等を準備、各委員会に配布。
 3. 厚生年金基金について検討
会員会社に勤務する役職員の老後の生活安定と福祉向上の一助として会員が加入できる厚生年金基金を検討する。
 4. 行政、情報産業団体との交流
(1)情報サービス産業協会(JISA)への加入
(2)積極的な交流を図り、事業情報を紹介

企画委員会

- 委員長** 亀井秀郎(太平工業㈱ 大分支店課長)
副委員長 飯田裕治(㈱オーガス部長)
副委員長 坂田 明(九州東芝 エンジニアリング㈱主任)
外委員 5名 (担当 田中副会長)

- I. 事業方針
協会活動方針に沿い委員会活動の充実と強化及び、会員相互の理解と協力をより一層深める事を目的として活動を展開。
- II. 事業計画
 1. 行政等への陳情・交流、共催事業の実施
(1)県産業振興課、地域経済情報センター及び県産業科学技術センターとのより一層の交流及び共催行事の実施。
(2)行政への陳情等を会員よりアンケート調査。
(3)行政の情報化計画等のヒアリング。
 2. 視察研修の実施
先進地域または先進企業の視察研修の実施(年2回程度)。

3. 経営セミナーの実施
4. 共同事業の研究
他県の共同事業・受注調査のための視察。

イベント委員会

- 委員長** 首藤 勇(コンピュータエンジニアリング㈱大分営業所取締役部長)
副委員長 佐藤誠樹(TNBソフトウェア㈱ 室次長)
副委員長 古賀士裕(㈱日出ハイテック課長)
外委員 5名 (担当 小野理事)

- I. 事業方針
当協会の存在を広くアピールし、会員企業の事業にとって会員相互、一般事業所等に対するビジネスチャンスが得られるような事業をする。
 1. 5年目のサウンズコンテストの充実。
 2. サウンズコンテストの開催は県や市のイベントに時期を合わせ、会員企業の紹介と得意分野を展示し、ビジネスチャンス確保の推進を行う。
- II. 事業計画
 1. サウンズコンテスト
本年もエフエム大分との共同開催を計画、放送網を利用し集客に工夫し、応募の見直しや部門の見直しを行う。
 2. 展示会
1. との相乗効果をねらい、会員企業のビジネスチャンスの場として、効果的な展示会を開催する。

研修委員会

- 委員長** 野村勲治(㈱アトムス事務器部長)
副委員長 丸井 彰(鶴崎海陸運輸㈱課長)
外委員 6名 (担当 大場理事)

- I. 事業方針
 1. 研修事業は会員企業の要望、必要性を反映していく。
 2. 協会の事業力強化の方針に合致しうる委員会事業計画とする。
 3. 委員会活動の活性化を図るため他委員会との合議を積極的に進める。又、行政との連携も進める。
- II. 事業計画
事業計画の具体化には会員企業の意見を伺い、ニーズの高い研修内容を企画する。
 1. 会員企業の技術者向けに、専門技術や先端技術に関する研修会を実施する。
 2. 会員企業トップ層の参考となる技術情

報に関する講座等を企画する。昨年度実施して好評を得たインターネット研修など。
 3. その他会員の要望に応じた事業。

技術委員会

- 委員長** 池田治郎(三井造船システム技研㈱ 九州事業所所長)
副委員長 神代重弘(サンキュウコンピュータ サービス西日本㈱取締役本部長)
副委員長 佐田幸巳(㈱昭和電工コンピュータ サービス大分事業所副主査)

- I. 事業方針
下記の活動を企画・実施し、情報化社会への貢献をめざす。
 1. 最新技術動向に関する知識向上
 2. 情報処理技術に関する知識向上
 3. 技術情報のネットワーク化
- II. 事業計画
 1. 技術交流会の開催
業界の最新技術動向について、産学官の先進的な研究成果やノウハウを持つ講師を招き技術交流会を開催する。同時に、会員の開発事例の紹介を行う。
 2. 勉強会の開催
会員の技術力向上のため、クライアント・サーバー、ネットワーク、マルチメディアなど先端技術の勉強会を行なう。
 3. 技術情報のネットワーク化
インターネット利用を検討・推進する。

広報委員会

- 委員長** 中西憲一(㈱トキハイ Industries リー 部長代理)
副委員長 上田泰延(九州電子計算機専門学校 大分校校長)
副委員長 佐藤幸雄(総合技術工学院部長)

- I. 事業方針
協会活動の内外へのPR、リクルート活動等を主体にした事業の展開
- II. 事業計画
下記の広報活動を行なう。
 1. 協会報の発行
年間3回を原則とする。
会員募集をOSAニュースで積極的に。
 2. 部外広報
協会案内の作成につき検討
協会のPRを目的に報道関係等への情報提供につとめる。
 3. リクルート情報活動
(新卒採用、Uターン対策)
(1)行政機関等へOSAニュース配布依頼
(2)必要に応じて協会報を利用した会員企業の紹介などを行う。

パソコン LAN

デジタル交換機・電話器

工事・保守サービス

ゴードービジネスマシン 株式会社

☎0975-68-4600 FAX0975-69-0121



オフィス・OAサプライ



お気軽にご来店を

☎0975-69-4741 FAX0975-69-4759

8年度総会記念講演

日 時：平成8年4月24日16時
 場 所：大分第二ソフィアプラザビル
 講 師：日本銀行 大分支店長 米田 実 氏
 テーマ：最近の金融経済情勢

講師のプロフィール

昭和24年生れ。一橋大学経済学部卒業後、日本銀行本店入行、同行電算情報局調査役、人事局研修課長、神戸支店次長を経て平成7年12月に大分支店長に着任。

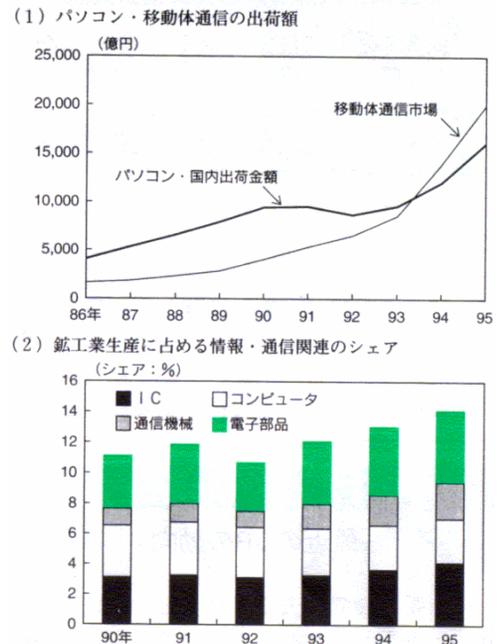


日本経済は80年代後半のバブル絶頂期、90年はじめのバブルの崩壊、金融スキャンダル、阪神大震災等を経て長期トレンドとして現在は「バブル不況」からの脱却過程にある。これは実質GDPの成長率、新設住宅着工戸数、公共工事請負金額／着工額等の推移を見ても上向き傾向に転じており、回復過程を物語っており、既に報じられてはいるが、「景気は緩やかながら回復しつつある」という判断である。

一方目を海外に転じてみると、米国経済はまずまず、欧州は減速、東アジアは著しい成長を続けている。今後の景気見通しは、カンフル剤としての公共投資効果の効き目とこれまで差し控えていた消費者の購買欲、特に自動車等で買替え時期にきており、個人消費の動向が「下期の鍵」である。産業構造のシフトは一段と進んでおり、情報産業に関わっているものとして、情報・通信産業が景気回復牽引として期待されていることを思うとビジネス環境は追い風と言える。昨今の住専問題処理、規制緩和、国内の空洞化対策等日本経済の前途には数々の問題を抱えており、金融政策だけでなく国債・財政対策、更にグロ

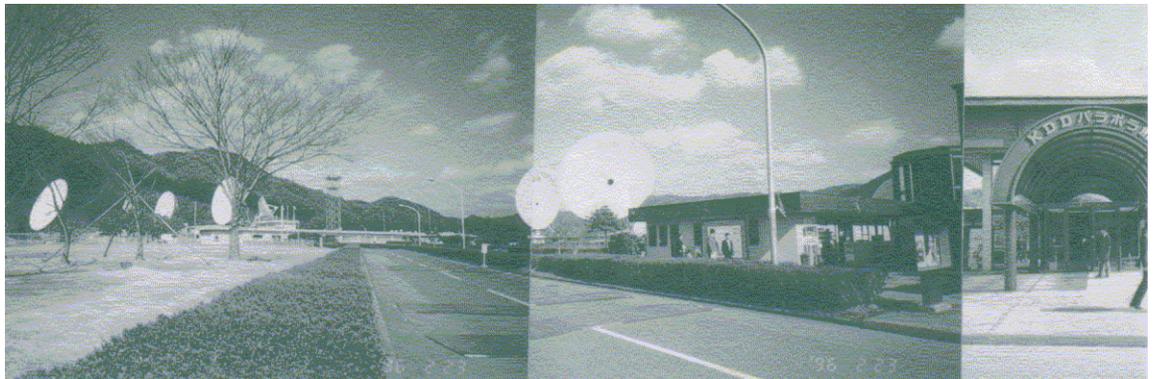
ーバルに国際分業の見直しといった大きな課題が横たわっていることも事実である。
 (総務委員会)

情報・通信産業の拡大



平成7年度第2回視察研修 広島テクノプラザと 山口衛星通信所

2月22日、竹田津から徳山へ渡り中国自動車道を往き来して、広島、山口方面の二カ所を見学した。途中宮島や錦帯橋にも立寄ることができた。今回の参加者は一泊旅行では最多の23名(14社)、早春賦の季節ながら2日とも快晴に恵まれ賑やかなバスツアーであった。



大阪城屋根のピンポン玉を狙える程の精度を誇る巨大なアンテナ群

広島テクノプラザ (広島県東広島市)

東広島市は、広島中央テクノポリス構想の対象地域であり、広島大学に隣接した地域に研究機能の集積をはかるため、広島中央サイエンスパークの計画が進められている。その中で広島テクノプラザは、県内産業の高度化を支援する中核の施設として、平成4年4月に第三セクターの企業としてオープンした。

室内寸法19×11.5×7mという西日本最大の電波暗室や、自動車産業を有する広島県ならではのシャシーダイナモ装置、電子顕微鏡や精密測定装置、恒温槽と連動させて運転できる振動試験機など、企業単独で設置するのが難しい様々な試験設備を見せていただいた。

運営は、他県の科学技術センターと同様に、なかなか厳しい状況であるが、県や大手企業からの支援を受けて、単年度で黒字にもっていきそうであるとのこと。

広島県の産業振興に大いに役立つ施設に成長していくであろうと思われた。

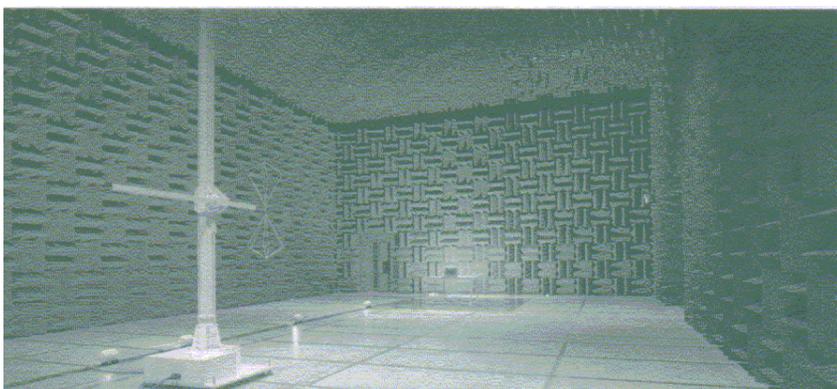
KDD山口衛星通信所 (山口県山口市)

1km以上も手前から、直径34mという巨大なパラボラアンテナが見える。ここは、日本では茨城県と山口県との二カ所しかない衛星通信所で、国際通信用および海事／航空の対移動体衛星通信用の巨大なパラボラアンテナと、国内のマイクロ波用アンテナが立ち並んでいて、そのスケールに圧倒される。

この衛星通信所が山口市に作られた理由は、
 ・インド洋および太平洋上の静止通信衛星を見通せる位置にある。
 ・山に囲まれており、通信の妨げになる電波障害が少ない、また、台風や地震が少ない。
 などの条件が揃っているからである。

可動部重量380tの巨大なアンテナを、静止衛星の微小な動きに自動的に追尾させる精密な制御や、海底ケーブルと衛星通信との相互補完などの興味深い話を聞くことができた。

ここには、一般公開のKDDパラボラ館という国際通信の博物館が併設されており、科学技術に興味のある子どもを連れて来れば喜びそうである。
 (企画委員会)



電気製品や携帯電話などが発信する障害電波を検査する暗室



広島テクノプラザ玄関にて視察団一行

「大分県産業振興ビジョン」 を中心に

一県産業振興課との意見交換会実施一

平成8年2月15日県ソフトウェア協会では、大分県が21世紀初頭を展望して策定した「大分県産業振興ビジョン」の説明を受けることを中心にして、大分県産業振興課などとの意見交換会を開催いたしました。

協会では、「新しい局面を迎え、協会として広く関係機関との交流を深め、情報化社会への貢献をめざす」との協会活動方針を受けて、初めて実施した関係機関との交流の第一弾でした。県産業振興課より佐藤課長他、情報化推進室より野上主幹、ソフト協会から田中副会長、各理事、委員長、副委員長及び

企画委員会所属の会員が出席しました。

産業振興ビジョンの概要について、佐藤課長から分かり易く説明を受けました。

【ビジョンの概要】

ビジョンは、概ね2010年を目標にして大分県産業の発展方向と産業振興のための基本方向を示すことで策定したもので、情報関係では、今後県が重点的に取り組むべき分野は次のような産業をあげています。

1. 世界中のマルチメディア情報の受発信拠点となる情報通信基盤の整備
2. 次世代型通信サービス、ソフトウェア開発
3. パソコンネット等ネットワーク、ニューメディア放送サービス

ビジョンは最終的には、人々に豊かな生活をもたらす人間性あふれる産業社会を実現することにあるとのことです。



ビジョン概要説明後、いろいろな問題について活発な意見が交換され非常に有意義な会合でした。

今後もこのような意見交換会等を積極的に開催したいと思っています。

(企画委員会)

技術勉強会

「最近のDBの動向」

技術委員会では去る3月7日(木)、富士通大分システムラボラトリ2階にて、当協会会員70名に加え、その他関係者60名、計130名の参加を得て「最近のDBの動向」について技術勉強会を開催しました。

今回の講師は、富士通(株)第一ミドルウェア事業部第一開発部の新井部長にお願いしました。新井部長は同社で開発部門と技術支援部門が共同で設立したSymfo WAREサポートセンターの担当部長をされております。

今回の勉強会では、リレーショナルデータベースの動向やオブジェクト指向データベースの概要と、最近話題になっているインターネットでのデータベースの利用方法、データ

ウェアハウスなど幅広い内容の発表がありました。更に同社のデータベースへの取組として、Symfo WAREを利用した人事情報システムのマルチメディア活用例のデモンストレーションや、データウェアハウスで利用が期待されるSymfo WARE Navi (開発コード:リバースナビゲーション)のデモンストレーションも行われました。



データベース技術は現在の情報システムの根幹を占める重要な技術であり、またリレーショナルとオブジェクト指向の両方を兼ね備える動きが活発化していると強く印象づけられました。

参加者全員興味深く聴講され、データベース適用時の問題点など突っ込んだ質問が多く出されて好評を博しました。(技術委員会)

編集後記

○大分県人材育成センターが教育用パソコンの能力アップをされた模様で、当協会の今後の研修活動にとって力強い味方になりそうです。昨年度好評で定員超過になった「技術研修会」などの定員も増やすことができます。

○今年度通常総会で当協会の加入が決定した(株)情報サービス産業協会(JISA)は、国の支援のもと特に地方の情報産業を振興する目的で、地域の情報産業団体が行う各種事業に対する助成制度を設けております。各委員会とも大いに活用して魅力ある事業を推進しましょう。

○1頁にご紹介した通り4社の新会員が加入されました。地域の活性化を願う仲間として、これから共に活動いたしましょう。(広報委員会)

1996. 6. 1発行

発行:大分県ソフトウェア協会

会長 御手洗克己

編集:広報委員会

事務局 大分市城崎町2-6-31

(大銀コンピュータサービス(株)内)

TEL(0975)37-5918 FAX(0975)34-4545

印刷:佐伯印刷株式会社



- システム・インテグレーション事業 (システムコンサルティング等)
- マーチャライジング・インテグレーション事業 (商品開発販売等)
- ロジスティクス・インテグレーション事業 (物流コンサルティング等)
- ケーブルテレビ事業



大分本社

(株)ケーブルテレビ佐伯



サンキュウコンピュータサービス西日本株式会社

- 本社:〒870 大分市高松東2丁目4番29号
TEL0975-56-7139 FAX0975-58-6156
- 東京事業所:〒105 東京都港区芝3丁目15番13号 YODAビル5F
TEL03-5445-3921 FAX03-5445-3922
- 福岡支店:〒812 福岡市博多区博多駅東1-16-8 ITビル4F
TEL092-451-0039 FAX092-411-7399
- SI事業本部:〒870 大分市高松東2丁目4番29号
TEL0975-56-6413 FAX0975-58-6156
- 北九州SIセンター TEL093-884-9618 FAX093-664-9626
- 山口SIセンター TEL0833-71-3973 FAX0833-71-3972
- MI事業本部:〒804 北九州市戸畑区大字中原先の浜46-51 先の浜ビル3F
TEL093-882-9454 FAX093-882-9475
- 大分営業所 TEL0975-56-6413 FAX0975-58-6156
- 東京営業所 TEL03-5445-3921 FAX03-5445-3922



—ジャパンエナジーグループ—

株式会社シーテック

- ・システム・コンサルテーション
- ・ビジネスアプリケーション
- ・システムの企画・設計・開発及び運用管理

佐賀関事業所 〒879-22 大分県北海部郡佐賀関町 日鉱金属株佐賀関製錬所内
☎0975-75-3501 FAX0975-75-3090

本社 〒181 東京都三鷹市下連雀3-35-1 ネオ・シティ三鷹 13階
☎0422-41-0381 FAX0422-47-1174